

## 松下国際財団

### 2009年度「研究助成」募集要項

(人文科学・社会科学領域)

松下国際財団は、「わが国と諸外国との国際相互理解を増進すると共にこれに資する国際人の養成を通じて世界文化の進展と人類の平和に貢献すること」を目的とし設立されました。

この目的に沿って、人文科学・社会科学の領域における、世界的な視野に立った研究、わが国と諸外国との間に介在する諸問題の解決、あるいは相互理解を促進させるための諸施策の提案に関する調査研究活動に対し助成を行います。

助成対象を大学院博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の者とし、上記の目的に適合する広い範囲において、社会的・学術的に要請の高い課題に対し、特に独創的・先駆的なアイデアに富んだ研究を期待しております。

#### ( ) 助 成 対 象

##### 1. 助成対象研究

人文科学・社会科学の領域において国際相互理解の促進や世界的な視野に立った社会的・学術的に要請の高い調査研究。又は、わが国と諸外国との間に介在する諸問題の解決のための研究。特に新しい着想にもとづく先駆的な研究を歓迎します。

##### 2. 助成の対象とならない研究

- ・ 営利を目的とした研究や営利につながる可能性の高い研究
- ・ すでに実質的に完了している研究
- ・ 巨額の研究費を必要とする研究
- ・ 研究期間が助成期間の半分に満たない研究

##### 3. 申請の資格・条件

- ・ 大学院博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の者
- ・ 申請者の国籍や資格は問いません。
- ・ 過去に当財団研究助成を受けた方は申請できません。

#### ( ) 助 成 の 概 要

##### 1. 助成金額

- ・ 助成金については研究内容および支出計画の合理性により査定をいたします。
- ・ 1件当たりの助成額の上限は50万円です。

## 2. 助成期間

- ・2009年10月1日から2010年9月30日の1年間とします。

## 3. 助成金の使途

- ・助成金は研究計画の遂行および取りまとめに必要な経費で、後掲の「研究助成金費目一覧表」のとおりとします。
- ・助成申請金額と使途明細合計は必ず一致するものとします。
- ・研究成果の発表を目的として行う報告書の印刷・出版物の刊行・シンポジウムの開催・国際学術集会への参加に要する費用は、この助成金には含まれません。

## 4. 助成対象者の主たる義務等

- ・助成対象者は当財団と誓約書を締結し、終了後に研究の経過・結果・会計について報告していただきます。
- ・当該研究の経過・結果報告については、当財団のホームページ等において公開しますので、あらかじめご了承ください。

## ( ) 選考方法・基準

### 1. 選考方法

- ・当財団の選考委員会において厳正かつ公平な選考を行い、決定します。
- ・「採否」の結果は合格者のみ8月末に電子メールにて通知します。
- ・結果の理由に関するお問合せには応じ兼ねますのでご了承ください。

### 2. 選考基準

次の用件を勘案して選考します。

人文科学・社会科学の領域で

当財団の事業目的と内容に沿った研究

社会的・学術的に要請度の高い研究

独創的あるいは先駆的な研究

研究者の意欲や能力が高く、研究計画・研究体制も優れていること

支出計画が合理的かつ適切であること

## ( ) 応募手続

### 1. 申請書の入手方法

申請書は当財団のホームページ

[http://matsushita-kokusai-z.or.jp/zaidan/data/kj\\_shin.doc](http://matsushita-kokusai-z.or.jp/zaidan/data/kj_shin.doc) (日本語) 及び

[http://matsushita-kokusai-z.or.jp/zaidan/data/kj\\_shin\\_e.doc](http://matsushita-kokusai-z.or.jp/zaidan/data/kj_shin_e.doc) (英語) に掲載していますので、ダウンロードしてご使用下さい。

## 2. 申請書類の内容について

No.1	申請者は選考時期（7月～9月）に必ず繋がるメールアドレスをご記入下さい。 <b>捺印または署名の無い書類は無効となります。</b> （印鑑が無い場合、署名でも可）
No.2.3.4	研究計画をご記入下さい。 「研究目的」には研究テーマの学術的・社会的意義も含めた内容を記載して下さい。
No.5	修士論文の要約に関して、海外の大学など修士論文がない場合は、それに代わるものを提出して下さい。（学会での発表資料等）
No.6	支出計画の使途明細については次ページの「費目一覧表」をご参照下さい。
No.7	申請者は、当該研究課題に対して適切と思われる関連分野の専門家2名（推薦者1と2）を記載し、推薦者2については本人の捺印または署名を得て下さい。推薦者1は推薦書（NO.8）の記載者とします。
No.8	推薦書記載者（推薦者1）の推薦書を <b>必ず申請書類と同封にて送付して下さい。</b> 英文推薦書は別様式（レター形式）でも結構ですが1～2枚に収めて下さい。 推薦書の言語は申請書の言語と異なる場合も可。

## 3. 申請方法

- 申請書の投函前（「応募情報」と申請書類の内容に差異をなくすため）に下記「応募情報」を記入してEメール（テキストデータ、枠線は不要）で送信し、事務局から送られる受付番号を申請書に記載して下さい。送信先アドレス：[grants@gg.jp.panasonic.com](mailto:grants@gg.jp.panasonic.com)

\* 事務局からの返信は土日祝日を除いて3日以内に行ないます。

但し、ゴールデンウィーク中（4月29日～5月6日）は休暇のため返信できません。

「研究助成」**応募情報**（申請書の記載内容と同一）

氏 名：	
年 齢：	歳
区 分：	博士後期課程 / 博士後期課程終了後5年以内 (どちらかを記載)
所属1（博士後期課程）：	大学院 研究科
所属2（終了者のみ）	
申請金額：	万円（必ず万円単位の整数で）
研究題目：	

所属1については全員が記入

所属2については博士後期課程終了者のみ現在の所属を記入

- 申請書類に必要事項を記入のうえ、**原本一式**（片面印刷）を当財団あてご送付下さい。
- 申請書類記入の用語は、日本語（日本人は日本語）または英語とします。
- パソコン（Word）をご使用頂き、直接申請書に必要事項を打ち込んで下さい。
- フォントは『12』以上（原則）で記載下さい。（但し、No.1「研究助成申請書」及び数字は除く）

## 4. 注意事項

- 記載紙面の追加、規格外の紙面の使用および資料添付は受付いたしません。  
また、極端に小さな文字を使い字数の多い（縮小コピー貼付も同様）申請書類は受付いたしません。
- 提出いただいた申請書類等は、返却いたしませんので必ずコピーを保管して下さい。
- 申請書類および推薦書の到着後2週間以内にEメールで受領連絡いたしますので、未着の場合は照会願います。
- 申請書類が著しく不備な場合（乱雑な文字も含む）選考対象外になることがあります。

5. 応募書類受付期間：2009年4月6日(月)～5月22日(金) 必着

## 研究助成金 費目一覧表

費 目	説 明
<b>研究補助者経費</b> 研究協力者謝金 研究補助者謝金	外部協力者からの助言、協力に対する謝金 研究活動に必要な資料、調査等の研究補助作業者に対する謝金 (調査者、運転手、データ入力等の臨時雇の作業従事者に対する謝金)
<b>旅 費</b> 国内旅費 海外旅費	片道100kmを超える出張(調査、会議出席)にともなう交通費、宿泊費等 研究のための出張にともなう交通費、宿泊費、雑費(保険料等海外渡航にともなう諸経費) 海外出張の場合、必ず旅行障害保険に加入してください。
<b>調査費</b> 調査委託費 コンピュータ・ソフトウェア関連費	アンケート調査、データ集計等を外部に委託する場合の経費 コンピュータ・プログラム開発、データ処理、コンピュータ使用料、プログラム借用料等の経費 * パソコン、デジカメ、映像・音響・複写・印刷機器・備品等、ハードウェアの購入費は対象外
<b>資料・印刷経費</b> 図書購入費 資料作成費 印刷・複写費	書籍、論文等の購入費 写真、マイクロフィルム、テープ、ディスク等、記録媒体の経費 調査票・集計表等の印刷費、書類の複写費 * パソコン、デジカメ、映像・音響・複写・印刷機器・備品等、ハードウェアの購入費は対象外
<b>会議経費</b> 会議室借用費 会議交通費 会議雑費	会議会場として使用する場所の借用費 会議に参加するための交通費等(片道100kmを超える場合は 旅費にて支出する) 会議の際の茶菓・弁当代、通信費等
<b>研究施設経費</b>	研究所等の借用費、光熱費、雑費等
<b>交通・通信・運搬経費</b>	研究のための交通費(片道100km以内の移動の場合)、通信費、機器運搬費
<b>消耗品経費</b>	研究に必要な事務用品、その他の消耗品
<b>雑 経 費</b>	翻訳料、速記料、調査対象者贈呈品費、調査対象機関謝金 機器・備品等の保守管理費、研究集会参加費その他の経費

次の経費は認められません

- \* 研究者の人件費・生活費・授業料
- \* 研究組織の運営管理に必要な一般管理費
- \* 報告書の印刷・出版物の刊行・シンポジウムの開催・国際学術集会への参加に要する費用

### 応募・問合せ先

財団名：財団法人 松下国際財団

住 所：〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006

TEL: 06-6908-4488 E-mail: grants@gg.jp.panasonic.com

< 研究助成 >

#### 応募資格と条件について

- ・ 大学院博士課程（後期）在籍者または終了者であれば国籍は問わない
- ・ 修士課程（博士課程前期）が修了していること
- ・ 過去に当財団の研究助成を受けた方は対象外
- ・ 対象外の研究
  - ・ 営利を目的としたもの
  - ・ 既に実質的に完了したもの
  - ・ 巨額の研究費を必要とするもの
  - ・ 研究期間が助成期間の半分に満たないもの

#### 申請書の書き方について

- ・ フォント 12 以上では、文字がうまく入力できない場合は、12 以下でもよい
- ・ 日本人は日本語による記載が必須（修士論文が英語の場合も要旨を和訳）
- ・ 推薦書の言語は申請書の言語と異なってもよい
- ・ 推薦者は研究課題について適切と思われる関連分野の専門家 2 名
- ・ 博士論文がある方は博士論文の要約をお書きください。
- ・ 修士論文がない場合は、それに代わるものでよい
- ・ 支出計画（No.6 用紙）は、松下国際財団への申請額上限 50 万円の使途明細を記入
- ・ 印鑑がない場合は本人署名でもよい
- ・ 認められない経費の内容
  - ・ 研究者の人件費・生活費・授業料
  - ・ 研究組織の運営管理に必要な一般管理費
  - ・ 報告書の印刷・出版物の刊行・シンポジウムの開催・国際学術集会への参加に要する費用